

ナカメ未来ビジョン

ナカメ未来ビジョン

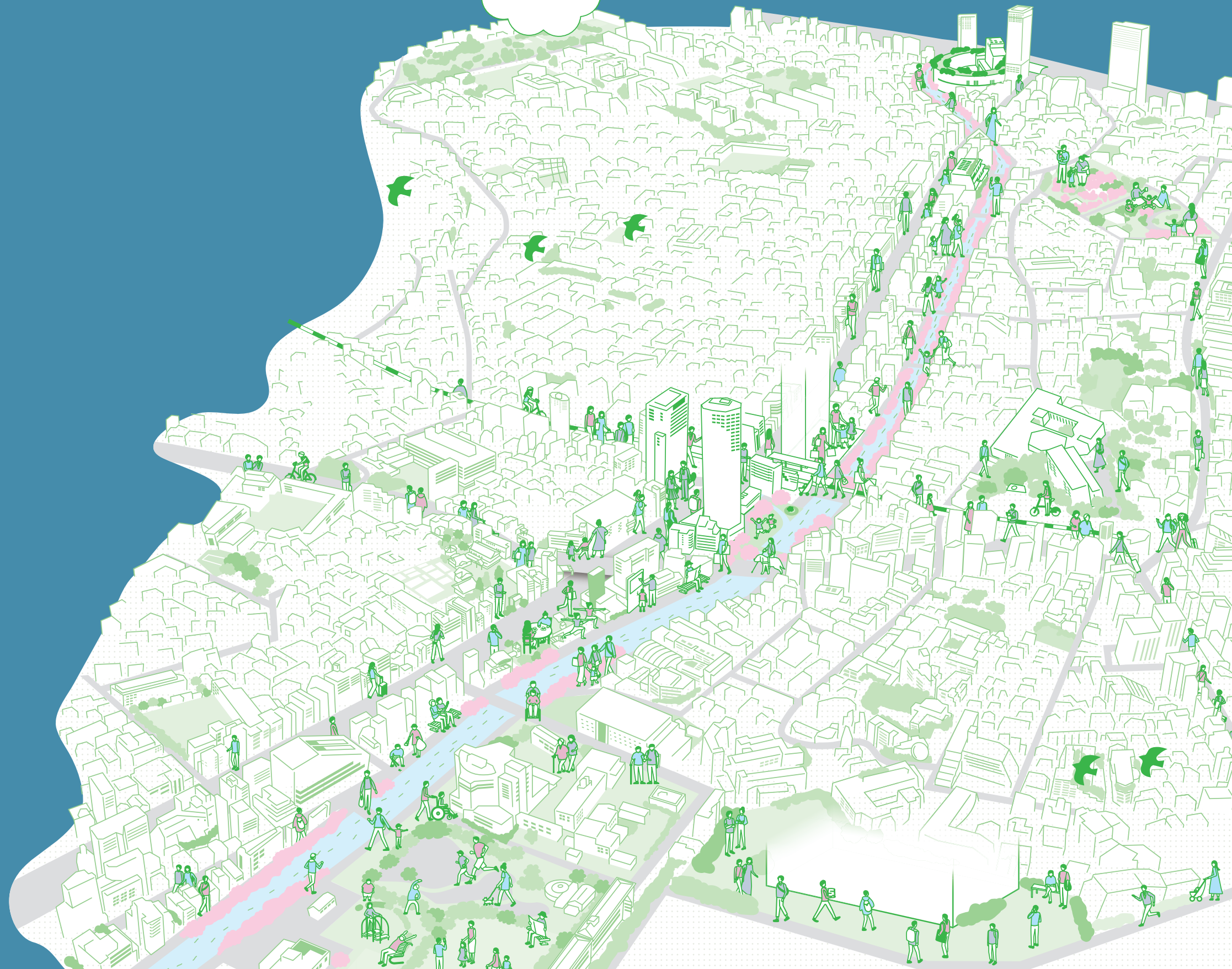
令和6(2024)年3月発行

編集・発行 ナカメをデザインする会議。

事務局 目黒区街づくり推進部地区整備課
東京都目黒区上目黒二丁目19番15号
電話：03(5722)9673

印刷 株式会社富士通総研

本書に掲載している地図は、東京都知事の承認を受けて、
東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。
[承認番号] MMT 利許第 05-K110-1



Contents

ナカメ未来ビジョンの構成

1 章	1	背景と目的	1
はじめに	2	対象エリア	2
	3	ビジョンの位置付けと期間	2
2 章	1	ナカメの将来像	3
ナカメの将来に向けた まちづくりの方向性	2	ナカメの魅力	5
	3	まちづくりの方向性	6
	4	まちづくり方針図	7
3 章	01	ウォークアブルネットワーク	9
まちづくりの 目標と方針	02	まちなか拠点	11
	03	やすらぎのあるまち	13
	04	クリエイティブなまち	15
	05	情報や技術が活きるまち	17
4 章			19
取組事例			
5 章	1	リーディングプロジェクト	21
今後の展開と 推進体制	2	ロードマップ	23
	3	体系図	25
	4	推進体制	26
参考資料 1		ナカメのこれまでの歩み	27
参考資料 2		ナカメを取り巻く社会状況	29
参考資料 3	1	人口・来訪者	31
ナカメの状況	2	産業	32
	3	環境・施設立地	33
	4	土地・建物	34
	5	都市基盤	35
	6	まちづくり活動・コミュニティ	36
参考資料 4		ナカメにおける課題の抽出 (SWOT 分析)	37
COLUMN 1		目黒川道プロジェクト	39
COLUMN 2		東京都市大学による未来ビジョン策定に向けた提案	43
用語集			47

1 章

はじめに

1 背景と目的

まちの変化

- 中目黒駅周辺地区は、駅を中心とした利便性の高いエリアであり、多くの人が暮らし、訪れるまちです。目黒川や沿川の桜などの自然、公園や街路樹などの豊かなみどり、暮らしに寄り添う商店街、個性のある店舗、先進的な取組を行うコンセプト店舗など、多様な魅力をもつ人気のエリアとなっています。
- 近年では、東京音楽大学中目黒・代官山キャンパスの開校や東京地方裁判所・中目黒分室の開設など、様々なまちの変化がみられます。さらに、市街地再開発事業の検討やグローバルスタートアップキャンパス構想のフラッグシップ拠点（以下、「GSUC 構想のフラッグシップ拠点」という。）に基づく施設整備など、新たな動きも出てきています。
- このような中で、エリアの魅力を守り・伸ばしながら、まちの変化に合わせたまちづくりに取り組むことが必要になっています。



【中目黒駅周辺地区】

公民連携まちづくりの機運の高まり

- 中目黒駅周辺地区では、目黒区による「中目黒駅周辺地区整備計画」の改定を契機に、中目黒駅周辺地区街づくり協議会（以下、「街づくり協議会」という。）と目黒区を中心とした公民連携によるまちづくり活動が活発に展開されています。
- 令和 2(2020) 年 10 月には一般社団法人中目黒駅周辺地区エリアマネジメント（以下、「ナカメエリアマネジメント」という。）が街づくり協議会の実行組織として設立され、目黒川船入場の利活用をはじめとするエリア内でのまちづくり活動を実施しています。
- 今後は、エリアの変化を捉えながら、公民連携まちづくりをさらに加速していくことが期待されます。



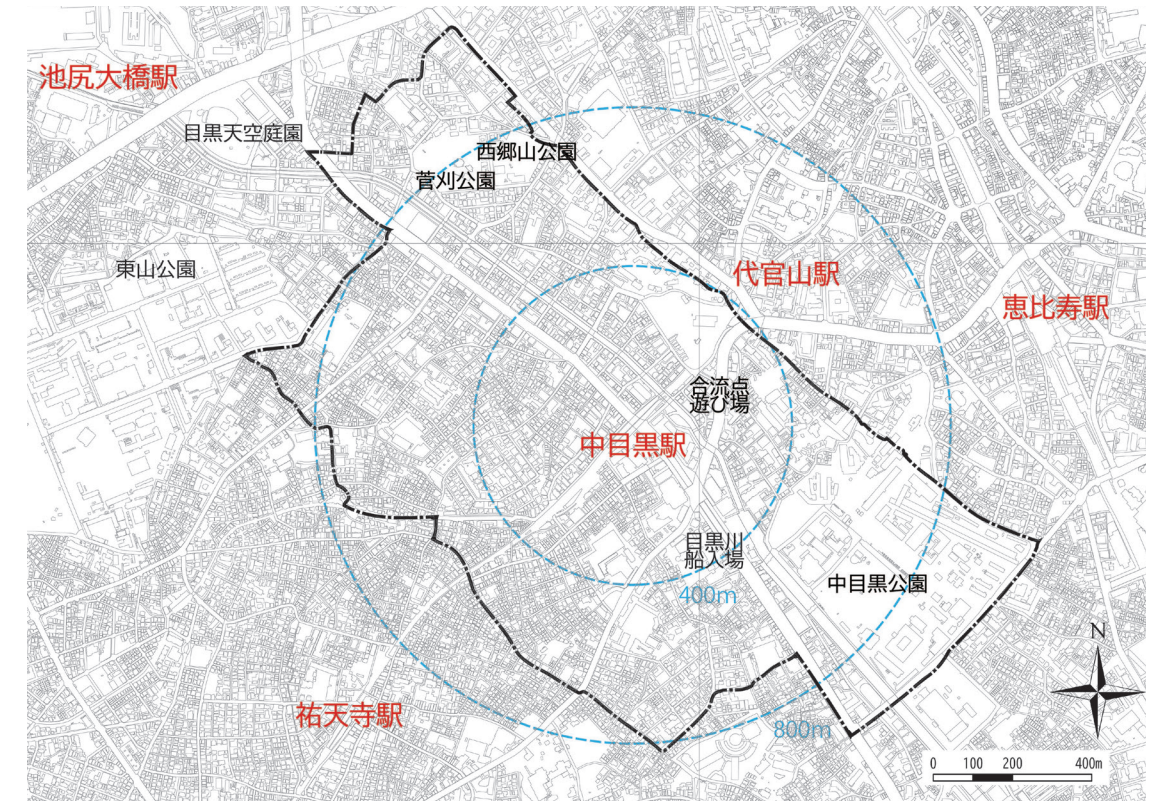
【目黒川船入場の利活用】

未来ビジョン策定の目的

- まちの変化や公民連携まちづくりの進展を踏まえ、将来に向けたまちづくりの方針と具体的な取組を明確にするとともに、多様な人材が参画・連携して取り組むことを目的として、未来ビジョンを策定します。
- 未来ビジョンの名称は、これまで地域に親しまれてきた愛称である「ナカメ」を使い「ナカメ未来ビジョン」とすることで、「ナカメ」に関わる・関わりたい多くの人と一緒に未来の「ナカメ」を育てていくことを目指します。
- 「ナカメ未来ビジョン」は、ナカメエリアマネジメントと目黒区を中心として多様な人材が参加するエリアプラットフォーム（ナカメをデザインする会議。）が策定します。

2 対象エリア

- ナカメ未来ビジョンの対象エリアは、中目黒駅を中心に、公共空間や店舗を徒歩・車いす又は自転車等で回遊することを想定して、概ね半径 800m の範囲とします。
- ナカメ未来ビジョンでは、対象エリアを「ナカメ」と呼びます。



3 ビジョンの位置付けと期間

- ナカメに関わる方々が取り組むビジョンであることから、策定時点では実現が困難であったり、調整・協議が図られていない内容も含まれています。「ナカメ未来ビジョン」をきっかけに、一人でも多くの方がナカメに関心と関わりを持ち、将来のナカメの姿について夢を語り、その実現に向けてトライ&エラーを重ねながらまちを育てていくことで、「自分たちのまち」と思えるナカメを目指していきます。
- ビジョンには、目黒区が行う取組も含まれるため、「目黒区基本計画」、「目黒区都市計画マスタープラン」、「中目黒駅周辺地区整備計画」を踏まえながら、実施期間を約 20 年間で想定する将来構想とします。

